

授業例③

国は大金持ち!? 財布のなぞは?

〈資料1～令和6年度予算～〉を提示し、「どのようにして税金は集められるのだろう」という学習課題を作ります。

そして、国や市町村の税収入の秘密を税の学習資料P4～5や〈資料2〉を基に調べさせます。

その上で、児童が納めている消費税を計算させながら、納める側から税金の役割を考えさせます。

◆資料1及び2を印刷して使用する。

〈資料1〉



所得税
会社員や自分で
商売をしている
人が国に納める

消費税

わたしたちも
消費税を国と北海道に
納めているよ!



税金には、
いろいろな
種類がある
んだね!

〈資料2〉

いろいろな税金	
道民税	北海道に住んでいる人が北海道に納める
自動車税	自動車を持っている人が北海道に納める
固定資産税	土地や家を持っている人が市町村に納める
酒税	お酒を買った人が税を負担する
たばこ税	たばこを買った人が税を負担する

消費税はどのようにして集められるの?

110円のノートを買ったよ。
消費税はいくらなのかな?



わたしたちが納めた消費税は、
お店が預かって、税務署に納めて
いるんだね!

$$100 \text{ (ノート代 (税抜き価格))} + 100 \times 10\% \text{ (消費税)} = 110$$

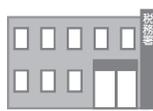


品物代 + 消費税



お店

消費税



税務署

※酒類・外食を除く飲食料品と定期購読契約が締結された週2回以上発行される新聞の消費税率は8%のままです。(軽減税率制度)

授業例④

税金は学校以外では、 どんなことに使われているのかな?

学校以外にも目を向けさせ、「税金は学校以外では、どんなことに使われているのか」という学習課題を作ります。

そして、税の学習資料P6～7などを調べさせて短冊に書き込ませます。それを発表させながら黒板に貼っていきます。

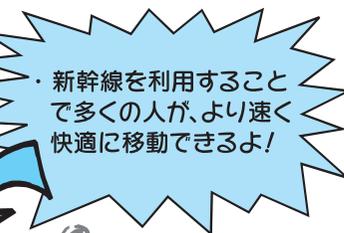
次に、税の学習資料P6の写真「北海道新幹線」に着目させ、次のように児童に問いかけます。児童からの意見を待って、その理由を発表させる中で、税金が、人々の豊かで便利な暮らしのために役立てられていることをとらえさせます。

◆生活経験を生かして、学校以外の施設などに目を向けさせていく。

◆北海道新幹線の考え方を他のものへ発展させ、ある程度の種類ごとに分けて板書を構成する。

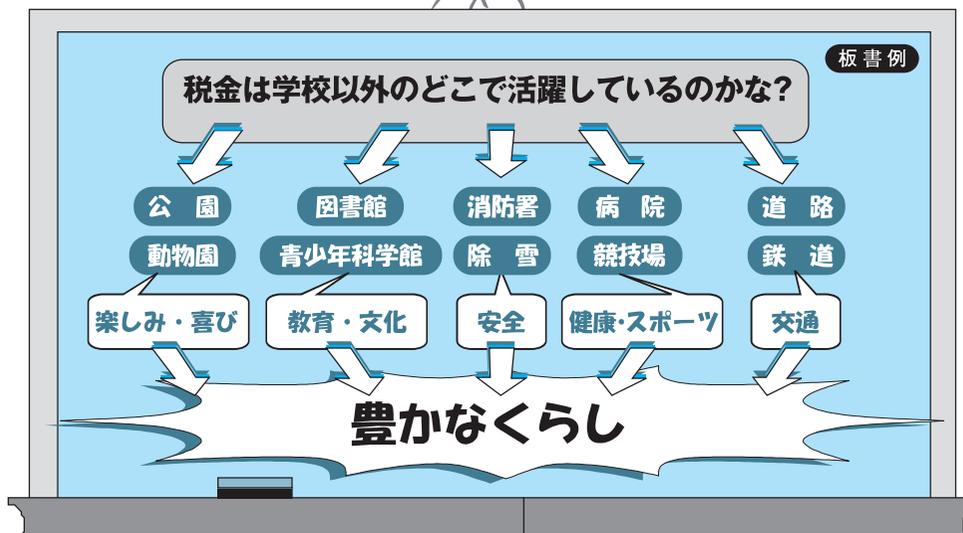


北海道新幹線に
たくさんの税金
を使っているの
はどうして?



・新幹線を利用することで多くの人が、より速く快適に移動できるよ!

税金は、道路や鉄道の整備にも使われているんだね!



税金の種類って何種類ぐらいあるの? 国税及び地方税合わせて約50種類。主な国税: 所得税、法人税、相続税、贈与税、消費税、印紙税、自動車重量税、関税など。主な道税: 道民税、事業税、不動産取得税、自動車税、地方消費税、ゴルフ場利用税など。主な市町村税: 市町村民税、固定資産税、軽自動車税、事業所税、都市計画税、入湯税など。